

# 飛鳥・藤原地区における公園等事業の整備促進

【担当省庁】国土交通省、文部科学省、文化庁

## 奈良県における取組

### 1. 飛鳥・藤原地区での取組

#### ① 飛鳥地区での取組

##### ○ 飛鳥京跡苑池

飛鳥宮跡に隣接して7世紀に築造された日本最古級の庭園。県では、2025年(令和7年)の供用を目指して史跡整備を進めており、平成30年度から基本設計を作成中。令和3年度に、実施設計および現場施工を開始予定。



史跡復元・展示のイメージ(出典:「飛鳥京跡苑池 明日香・藤原魅力向上事業 設計委託」JH25.3)

##### ○ 飛鳥宮跡

舒明天皇から天武天皇まで6代の天皇が政務を行い、日本の国作りが行われた4つの宮が重複して存在する史跡。2030年(令和12年)の供用を目指し、令和2年度を目途に保存活用計画を策定中。



飛鳥宮跡(イメージ)

#### ② 藤原地区の取組

今後想定される藤原宮跡の公園事業化に伴い生じる、環境影響を検討するための基礎資料として、自然的環境調査を継続実施。

## 2. 現状と課題

### ①日本人の心のふるさと「国営飛鳥歴史公園」の利用促進

飛鳥の周遊観光の中核となる国営飛鳥歴史公園5地区は、「日本国はじまりの地」「日本人の心のふるさと」を実感できる歴史体験型テーマパークとして、一体的かつ積極的な利用促進が必要。また、高松塚周辺地区にある高松塚古墳壁画は、修理完了後、地区内の適切な場所にて、保存管理・公開をおこなうことが望まれている。

### ②特別史跡「藤原宮跡」等を国営公園として新規事業化

特別史跡「藤原宮跡」は我が国最初の本格的な都城の中核部であり、歴史上・学術上の価値はきわめて高い。また、史跡「飛鳥水落遺跡」「酒船石遺跡」は、古代律令国家形成期の重要な施設であることから、国営飛鳥歴史公園としての整備が必要。

### ③国営公園事業に関連して、県が行う史跡整備等の推進

飛鳥時代の政治・文化を知る上できわめて重要な遺跡である史跡・名勝「飛鳥京跡苑池」および史跡「飛鳥宮跡」の整備推進に向け、整備計画の策定、施設設計並びに整備に取り組んでおり、引き続き国の強力な支援や協力が必要。

【関係市町村】 橿原市・明日香村

## 国にお願いすること

### 1. 日本人の心のふるさと「国営飛鳥歴史公園」の利用促進

○飛鳥の周遊観光の中核となる、国営飛鳥歴史公園5地区の一体的かつ積極的な利用促進と高松塚古墳壁画の公開展示。

### 2. 特別史跡「藤原宮跡」等を国営公園として新規事業化

○特別史跡「藤原宮跡」や史跡「飛鳥水落（あすかみずおち）遺跡」・「酒船石（さかふねいし）遺跡」について、観光資源としての活用を図るため、国営公園として整備。

### 3. 国営公園事業に関連して、県が行う史跡整備等の推進

○国営公園事業に関連して、県が進める史跡・名勝「飛鳥京跡苑池」や史跡「飛鳥宮跡」の整備推進に必要な予算の重点配分。

（ 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業 [文化庁] ）

【県担当部局】 まちづくり推進局公園緑地課  
地域振興部 文化財保存課  
地域振興部 文化資源活用課